

一般会計予算決算常任委員会
産業建設分科会記録

令和5年5月18日

【開催日】 令和5年5月18日（木）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時35分

【出席委員】

分科会長	藤岡修美	副分科会長	中岡英二
委員	恒松恵子	委員	中島好人
委員	中村博行	委員	森山喜久
委員	矢田松夫		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

なし

【執行部出席者】

副市長	古川博三	経済部長	桶谷一博
経済部次長兼商工労働課長	田尾忠久	商工労働課課長補佐	植田達也
商工労働課主査	中村扶実子		

【事務局出席者】

事務局長	河口修司	庶務調査係長	田中洋子
------	------	--------	------

【審査内容】

- 1 議案第32号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について

午前10時 開会

藤岡修美分科会長 おはようございます。ただいまより一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会を開催いたします。本日の審査内容につきましては、お手元に配付してあるとおりでございます。それでは、議案第32号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）につきまして、経済部に関わる件、執行部の説明を求めます。

田尾経済部次長兼商工労働課長 それでは、令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）、商工労働課分について御説明いたします。予算書は、8ページ、9ページからになりますので、よろしくお願ひいたします。また、お手元に概要を記しました資料をお配りしておりますので、まずはそちらを御覧になりながらお願ひいたします。それでは資料のほうですが、まずは1、事業目的・概要ですが、物価の高騰等の影響に鑑み、市民生活を支援するとともに、地域における消費を喚起するため、さらに小野田商工会議所、山陽商工会議所からも更なる経済対策として商品券事業の実施を求められていること、また、事業者アンケートにおいても商品券事業の要望があることから、令和2年度から令和4年度に続きまして、市民の皆様や山口東京理科大生の皆さんに商品券を配布いたします。市民の皆様や理科大生の皆さんは、配布された商品券をあらかじめ登録している取扱店で使用いたします。取扱店は、市内金融機関に使用済みの商品券を持参し、換金いたします。続いて、「2実施主体」ですが、実施主体は市となります。ただし、取扱店の募集、商品券の換金などの事業者への対応は、市、小野田商工会議所、山陽商工会議所が協議会を設置して実施します。続いて、「3商品券」でございます。商品券の愛称を「スマイルチケット」といたします。発行額面は500円です。市民の皆さんには、1人500円掛ける8枚の、このたびは4,000円をお送りいたします。令和2年度から令和4年度は1人につき5,000円を配布しておりましたが、今年度につきましては、国からの交付金の金額等に鑑みまして、1人当たり4,000円といたしました。対象者は、住民基本台帳に登録されている市民と山口東京理科大学の全学生を対象にいたします。基準日は、今のところ未定です。続いて、「4取扱店」です。商品券発行事業を実施するに当たり、当事業に参加していただけるお店を募集いたします。昨年度は573店の参加がありました。対象店舗といたしましては、4,000円のうち、2,500円分を専用券として、市内飲食店、小規模事業者、タクシー事業者で使用できます。②の共通券は1,500円分としており、全ての店舗を対象と

いたしております。専用券の対象の店舗につきましては、共通券も対象となりまして、4,000円分の商品券の使用が可能となります。昨年度については5,000円中、専用券を6割にあたる3,000円としておりましたが、今年度もこの割合を下回らないようにしております。続いて、「5 配布方法」です。こちらは、追跡サービスのある「ゆうパック」にて配達を予定しております。無施錠の集合ポストの場合は、各戸のドアポストへ配達していただける予定でございます。続きまして、資料裏面を御覧ください。「6 スケジュール」でございます。この度の商品券もできるだけ迅速にお送りしたいと考えておりまして、可決していただきましたら、すぐに取扱店の募集に入り、できれば昨年同様8月から郵送を開始したいと考えています。スケジュールが決まり次第、広報等でお知らせしたいと思っております。続いて、「7 令和4年度実績」でございます。スマイルチケットの換金額、スマイルチケットの業種別使用枚数、飲食店を除く小規模事業者使用枚数を掲載しております。参考に御覧いただければと思います。次のページには「8 事業者アンケート結果(概要)」を掲載しております。売上げや顧客数が増加したと回答された事業者が半数には届いておりませんが、消費拡大については効果があったと感じられた事業者が7割を超える結果となりました。続きまして、歳出について御説明いたします。予算書8ページ、9ページを御覧ください。7 款商工費、1 項商工費、2 目商工振興費、1 節報酬、会計年度任用職員報酬は、会計年度任用職員の時間外勤務手当として6万円、3 節職員手当等、時間外勤務手当は、職員の時間外勤務手当として144万円、1 0 節需用費、消耗品費は保存用ファイル等の消耗品10万円を計上しております。続いて、10ページ、11ページを御覧ください。同じく需用費、印刷製本費は、商品券などの印刷製本として912万5,000円、11 節役務費、通信運搬費は郵送代などの通信運搬費として1,595万7,000円。役務費、広告料は新聞などへの広告掲載用として23万8,000円、同じく役務費、手数料は金融機関への換金手数料として1,078万9,000円、12 節委託料、帳票類印刷・封入等委託料は商品券の封入などの委託として660万円、コールセンター業務委

託料は、商品券のお問合せに対するコールセンター設置の委託料として308万円、13節使用料及び賃借料、機械器具借上料は商品券計数のための計数機のリース料として77万円、18節負担金、補助及び交付金、商品券発行事業負担金は、商品券の換金原資等として2億4,720万円、計2億9,535万9,000円を計上しております。続きまして、歳入について御説明いたします。6ページ、7ページを御覧ください。15款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、1節総務管理費国庫補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4億5,986万8,000円のうち1億5,049万2,000円を山陽小野田市商品券発行事業の事業費に充当しております。説明は以上でございます。御審査のほどよろしく願いいたします。

藤岡修美分科会長 執行部の説明が終わりましたので、委員の審査に入りたいと思います。質疑を求めます。歳出から行きましょう。

森山喜久委員 全体的な部分で聞きたいんですけど、今回、新年度予算ではなく、6月定例会でもなく、この5月臨時会に出さないといけなかったのは、なぜこの時期だったのかを教えてくださいいいですか。

田尾経済部次長兼商工労働課長 皆さんも御承知のとおり、物価高騰が非常に高い割合で多品目に渡って上がっておりまして、一刻も早く市民の生活支援が必要であること。また、それに伴います地域の消費喚起のために緊急の経済対策が必要であると判断いたしましたので、国の交付金を利用しまして、一刻も早く何らかの事業を実施したいということで、この商品券発行事業が選ばれて、緊急ということで、この臨時会でお願いするという経緯になった次第でございます。

森山喜久委員 新年度には間に合わなかったということによろしいですか。

田尾経済部次長兼商工労働課長 多くの物価が2月又は4月に上がっておりま

すので、新年度の予算を組む場合では、まさか、もう一度この商品券事業があるというのは想定しておりませんでした。

中島好人委員 この事業ですけれども、物価高騰への対応、国の交付金で事業を行うわけですけれども、この間ずっと商品券をスマイルチケットという形で出していますけれども、他の自治体でもっと他のこともやっているけれども、うちは商品券スマイルチケット発行に踏み切っている判断の基準というのがあるのかどうか、その辺のところはどうなんでしょうか。

古川副市長 このスマイルチケット4弾目ですけど、今回のように、国が120兆円近く、コロナに対して出動いたしております。そうした中で、他市においては、プレミアム付の商品券をしているところもございますが、私どもが当該チケットを採用しているのは、市民にもれなく、所得に関係なく行き渡る生活の安定、それと市内の中小企業者の苦しいところの支えという二つの目的でやっております。先ほど、資料の中にもありましたように、業者の皆様もこの関係で売上げが伸びておるといふ声も聞きますし、両商工会議所からの話、また先日、料飲組合の総会があったときも、議案がすでに発送されておりましたので説明しましたら、大変好評だったということ。また、今回は、このスマイルチケットとは別に保育園、また、学校の給食で保護者の皆様方に負担が生じるところを、その生じる部分については、この交付金で、皆様方に補助するという手法を取っております。基本的には市民の皆様方の生活の安定、物価高騰に対する安定、それと中小企業者の皆様方に、今まで苦しかったところの経営の少しでも売上げになればという趣旨から、今回こういう形を取っております。多分、これが最後になるだろうというふうに思っておりますので、一般財源の持ち出しもありますので、5,000円のところを4,000円ということで、今回の措置を取らせていただいたということで御理解いただけたらと思います。

中島好人委員 料飲組合からも好評だったという、副市長からの話がありまし

た。先ほど業者のアンケートの結果を資料として提示されましたけども、この中で数字的には出ているわけですけども、要するに、こうしたアンケートを取った際に、皆さんの御意見とか気がついた点とか、何か要望とかというものを生の声として、アンケートの項目によくあるわけですけども、その辺の項目があって、そこにおける回答はどういう回答があったのか。ひょっとしたら、もっと違う業者からの要望もあったのかなというのをいろいろ考えたものですから。これが決して悪いということじゃないんですけども、もっとこういうのがあったよというような声があれば、紹介してもらえたらなということでは言いました。

中村商工労働課主査 アンケートで、スマイルチケット以外への御意見があったかということではよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）事業者アンケートですけど、目的がスマイルチケットを実施することで効果を感じていただけたかとか、その事業自体の改善を目的としておりますので、あまりほかの事業への要望というものは具体的には聞き取ってはいないんですけども、ほかの事業への要望というものはほとんどなかったと思っております。1件、2件ぐらいは給付金等の御要望はあったようにも思うんですけども、スマイルチケットの感想というか、そういったものがほとんどでございました。

藤岡修美分科会長 事業の目的に関する質問が多いので、予算書に一回戻って、8、9、10、11ページです。

森山喜久委員 10、11ページ、12節委託料のコールセンター業務委託料ですが、期間はどれぐらいを予定しているか教えてもらえますか。

田尾経済部次長兼商工労働課長 基本的に昨年と同様に配布したいと考えております。お盆休みには皆様のお手元に届けたいというのがコンセプトでございまして、コールセンターの設置は、配り始める8月上旬、つまり8月1日から9月15日の1か月と半で実施したいと考えています。

森山喜久委員 前回もそのぐらいの期間で十分対応できたという理解でいいですか。

田尾経済部次長兼商工労働課長 問合せの期間は、やっぱり配り始めてすぐです。一番の問合せは、まだ届いてないとかという点が多いですから、それをお調べしてということになりますので、どうしても8月が一番多いということになります。

矢田松夫委員 今回も郵便局を使って配送方法を決めておられますけれど、以前は民生委員に在宅確認を含めてチェックをさせたということもあったんですが、今回は、なぜそれをとらなかったのか。郵便局による配達は、いろいろ市民からの苦情が一番多いわけですが、確実に渡る方法であれば、民生委員が一番いいと思うんですが、それを取らなかった理由をお答えできますか。

田尾経済部次長兼商工労働課長 全市民、全世帯にお配りするもので、これだけの大量の郵送物をこの短期間でお配りすることができる配達業者は、郵便局が一番だろうというふうに考えております。もっと人口の少ないところであれば、そういった民生委員さんを通してお配りするということも可能でしょうけど、恐らくセキュリティーの面からも期間の面からも難しいだろうと思います。また、民生委員さんといいますか、自治会長さんとか、そういった福祉部門の御協力は昨年度も頂いておりまして、郵便局で配達される世帯がいらっしゃらないという場合、帰ってきたものを、そういった民生委員さんや自治会長さんの御協力を得て、もし施設に入っておられる情報を得たならば、その施設や御家族のほうに持っていくようなことをやっております。また、基準日から配達日までタイムラグがありますから、その間に市外へ引っ越された方にも、引っ越された先に住所を確認してお送りするようにいたしておりますので、そういった面では、配達方法は昨年度と同様に郵便局を考えております。

矢田松夫委員　そしたら、今回は2段構えで確実に届ける方法を実施するという回答と受け取ったんですが、それから二つ目は、今回で4弾目と言うけど、ずっと資料を見ていると、ほとんど事業目的と概要の物価高騰がない以外は、ほとんど同じ軸で並べておるような感じがして、あまり変わり映えがしないような内容になっています。今回、5,000円から4,000円に1,000円けちった理由は何ですか。もらう側からすれば、5,000円のほうがいいね。

田尾経済部次長兼商工労働課長　本会議場でも御質問のあった件でございますが、昨年度までは補助金をお使いして、事業費のほとんどに補助金を充てておりました。この度、物価高騰の補助金というのが、昨年のお半分ぐらいになっておりますので、事業費の中に一部、一般会計から捻出するという手法を取っておりますので、この度は、4,000円にさせていただいたということです。

矢田松夫委員　それから配布方法がゆうパックと書いてあるけど、これは何というか、前回やったような配達記録、追跡調査ではなくて、ミニレターパックみたいな感じで、今回やれるのかどうなのか。通信運搬費が前回と比べると、二、三十万円しか差がないんですよ。だから、違う新たな配達方法を考えておられるのかどうなのか。私も何回も言いますように、小野田と厚狭の均等化を図るためには、封筒を少し改良していただければ、郵便局の働く人がもう少し均一になるんじゃないかと、こういうふうに言われましたけれど、前段のこの差、前回と今回の配布方法が違うのかどうなのかね。金額は二、三十万円しか変わらない理由は、配達方法によるのかどうなのか。大体こういうもので配るって、見本ぐらい持っておかないといけない。空封筒ぐらい。これ一番もめるところやね。隣には来て、うちには来てないとか、タダでもらうんだからって言い方じゃないよ。やっぱり物価高騰で恩恵を受けるならば、気持ちよく配達するのが筋じゃないかと思う。

中村商工労働課主査 結論を申しますと、昨年度と配達方法は同じです。令和2年度からこの事業を始めまして、配達方法につきましては、郵便局とも相談しながら、試行錯誤しながらやってまいりました。それは他市の事情をお聞きしても同じような状況なんですけれども、防犯上、いわゆるセキュリティーの問題と配達の問題と、皆さんに御心配をおかけするので、早く配達を完了してほしいという両面があります。試行錯誤した中で、昨年度、ゆうパックという形でポストに入れた記録が残る、無施錠の集合ポストについては、ドアポストに確実にに入れていただくということで、ほとんど苦情もなく、トラブルもなく完了しておりますので、今年度も昨年度と同じやり方をしようと思っております。それで封筒等につきましても、郵便局と封入封緘業者で相談しながらやってまいりますので、そこら辺の調整は十分していきたいと思っております。以上です。

矢田松夫委員 私たちもよく分からないのは、配達ルートというのは、印刷業者から直接、郵便局に持っていくというルートをとられると聞いたんですが、これは事実ですか。だから、商工労働課のほうは一切タッチしないと。

中村商工労働課主査 封入封緘^{かん}の事業者^{かん}に郵便局に持って行っていただいております。

矢田松夫委員 あともう一つで質問を終わりますが、これは保険年金課が出す封筒なんですよ。 (封筒を取り出す) これ84円、重たければ、また別途料金がかかるんですが、毎年、この料金でできるんですよ。定形外は高いですよ。定形内のこの重量がかかるんです。その辺を考えて、通信運搬費を少し安くする方法を考えていただきたいというのは、私の要望です。最後にしますが、印刷費なんかも、これは偽札と同じように、犯罪を防ぐために特殊な印刷を掛けるから、市内業者は使われないと言

われましたけれど、何らかの手段で、市内業者が印刷に加わることはできないものなのか。話は変わりますが、月1回の広報が、市内業者ではなく市外の業者が落札したという例もありまして、やっぱり市内業者を育成するためには、できるだけどこかに、今回のスマイルチケットを使う事業所はいいんですが、それに携わる業者の特典じゃないけど、何らかのことができないのかどうなのか。どうですかね。今回について、何もないですよ。

中村商工労働課主査 商品券につきましては、やはり偽造防止という面もございまして、商工会議所にも御相談したんですけども、やはり市内業者では難しいところがございます。印刷製本費の中で、商品券以外に取扱店にステッカーとかポスターとかというものを送ったりする封筒を印刷するとか、市民の皆さんに使用期限がいつまでですよとお知らせするポスターとかを印刷するとかにつきましては、市内の業者さんをお願いをするようにしております。

藤岡修美分科会長 ほかにはありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）では資料を含めて。

中村博行委員 利用の実績ですけれども、97.5%と非常に高いと判断しますが、残りの2.5%ぐらいの内訳というのは、例えば、共通券か専用券かという割合は取っておられますか。

田尾経済部次長兼商工労働課長 平均すると97.5%なんですけれども、共通券のほうが98.5%です。専用券は96.8%でございます。ですから、専用券のほうを若干余らせておられるという傾向は見受けられます。

藤岡修美分科会長 関連で、今回、専用券5枚、共通券3枚、このバランスが微妙ですけど、2,500円と1,500円に分けられた理由など根拠があればお願いします。

中村商工労働課主査 事業が始まった当初は、半分半分というときもあったんですけども、審査していただく中で御意見を頂いて、3,000円、2,000円になったと思っております。今回、5,000円を4,000円にするに当たりまして、そういった御意見も頂いておりますので、その割合を下回らないようにということで、1枚ずつ減らして、パーセンテージでいくと、62%ぐらいになるかと思うんですけども、市民の皆様からは、やはり専用券を使う場所が限られているので、共通券ばかりにしてほしいという御意見は頂戴しているところなんですけれども、やはりそういった小規模の事業者の支援という面もございますので、担当課としては、その割合はなるべく変えないようにしていこうということで、今回、この枚数になりました。

恒松恵子委員 資料の中の使用枚数の中にサンパークが17%とあります。確認ですけど、サンパーク内の飲食店もこのサンパークの中に含まれるという解釈でよろしいですか。

中村商工労働課主査 サンパークの中には、全てサンパークの中の店舗が含まれていると御理解ください。

恒松恵子委員 感覚的でいいんですけど、サンパーク内の大手のチェーン店の飲食業とかたくさんあると思うんですけど、その辺りの利用率が高いなという、そういうそこまでの詳細な利用の分別はされてないということでもよろしいですか。

中村商工労働課主査 一応店舗ごとに集計はしているんですけども、サンパークが換金をまとめてされる関係がございまして、サンパークの中の詳細までは、申し訳ございませんが、把握しておりません。

中岡英二副分科会長 予算書の11ページを見ますと、通信運搬費が1,50

0万円、銀行の換金で手数料が1,000万円と、かなり高額ですが、将来、こういう国からの補助金等が出た場合に、マイナンバーカードのひも付けというのは考えておられますか。まだそこまで考えておらず、今のやり方でやると。その辺をお聞きしたいです。

田尾経済部次長兼商工労働課長 もう一度、事業の手段を思い出していただきたいです。これは商品券の発行事業ですので、マイナンバーを通じてというのではなくて、あくまで生活の支援がメインではございますが、それを現金で配らずに商品券でお配りするということで、私たち、商工労働課が請け負って、経済対策としてやっておる事業ですので、今のような手法は考えにくいです。

恒松恵子委員 何度も申し上げますけど、換金が月に3回なのは少ないということが、多分、御意見として上がっていると思うんですが、もう最後なら見直しはできないと思うんですが、多分、料飲組合でもそのような御意見を多々聞いたんじゃないかと思うんです。ぜひ、次のときには換金方法について、事業者の御意見をよく聞かれたらと思います。お願いします。

藤岡修美分科会長 要望でいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）よろしくお願いします。

田尾経済部次長兼商工労働課長 金融機関と聞き取りを行っておりまして、手数料は確かにお支払いしておりますが、大変御迷惑をおかけしておる状況でございます。金融機関のほうは、本来の業務とこの業務が重なった日に業務にならないということまで言うておられますので、換金日を増やすことは難しいと我々は考えております。

藤岡修美分科会長 ほかに質疑ありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは議案第32号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）に

つきまして、産業建設分科会の審査を終わります。お疲れ様でした。

午前 10 時 35 分 散会

令和 5 年（2023 年）5 月 18 日

一般会計予算決算常任委員会産業建設分科会長 藤 岡 修 美